

(数 学) 科の家庭学習方法

1. 予習をしよう わずか3分で授業がわかりやすくなる！

3分でやることは、教科書の次の2ページ分に目を通す。それだけです。わずか3分間読むだけで「次の授業でどんなことを勉強するか」つかむことができます。また、「どんなところがわかりにくいかな」意識することができます。

2ページ読んで、授業の内容をあらかじめわかった上で授業を受けます。そして、予習でわかりにくかったところに気を留めて先生の話聞くのです。すると、授業の集中力も高まります。

前日読めなかったときは授業直前でもいいので、やってみてください。



2. 宿題をやろう 「わかった」ことを「できる」ことに変える！

数学では、授業で説明を聞いてわかったと思っても、実際に自分でやってみると意外とできないことがたくさんあります。何となく「わかった」つもりになっていて、「自分で確実にできる」までにはなっていない問題が多いのです。授業で「わかった」ことを自分で「できる」ことにしていく。そのために大切なことは、「わかったと思うタイミングを逃さない」ことです。つまり、その日のうちに必ずやらなければならぬのです。

そうです。それが宿題です。宿題の習慣をつけないとできない問題が増えてしまいます。宿題はていねいにやりましょう。できない問題があれば、次の日すぐに先生や友だちに質問して、自分でできるかどうか演習しましょう。



3. 自分で復習しよう できることを増やして自信をつける！

数学には、計算、方程式、表やグラフ、図形、資料の活用、確率など、いろいろな内容があります。授業と宿題で勉強していることは、その中の一つに過ぎません。

「計算も、方程式も、グラフも、図形も、1年生の内容も2年生の内容もできる。」このように、あらゆる分野や内容ができるようになるためには、自分で考えて計画を立て、数学演習などの問題をすすんで解く習慣をつける必要があります。

解き方がわからない問題にあたったときは、解説を一行一行丁寧によく読みましょう。そして解き直すことによって、「わかった」感覚を「できた」自信に変えていきましょう。

忘れていた問題やできなかった問題を、できる問題に変えることが、成績を上げる唯一の方法なのです。



家庭で数学を勉強する時の大切なポイントは・・・

- ① かならずできる簡単な問題から始めましょう。自分の脳に「できる！簡単だ！」と思わせるためです。勉強でも何でも「うまく調子に乗る」ことが大切なのです。
- ② 途中の式を丁寧に書きましょう。途中の式に大事な「数学的思考方」が潜んでいます。
- ③ 「できそうでできない。でもあと少し頑張ればできそうだ。」そんな問題を大切にしましょう。実は、数学の力を伸ばすエキスは、こんな問題にたくさん詰まっています。
- ④ 長い文で書かれた問題にもチャレンジしましょう。文で書かれた内容を、自分でわかるように図や表に整理することは、数学にとって大切な「読解力、思考力、表現力」が身につく活動です。
- ⑤ 数学はかならず毎日勉強しましょう。数学は積み重ねの教科です。一日休めば、数学の力は二日分落ちると思ってください。授業の宿題と、授業以外の復習の両方を、毎日続けてください。

